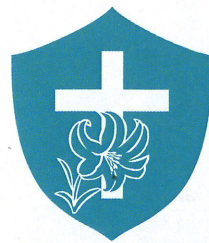


ヨゼフの四季



St. Joseph's Garden
Special nursing home for the elderly,
since 1969

人の願いや望みに気づき
それを満たすことを教えてください

第143号



新年号をお届けします。今年もどうぞよろしくお願いいたします。

聖ヨゼフの園は、今年の6月に創立50周年を迎えることになりました。この記念すべき節目の年を無事に迎えることができましたのも、これまでさまざまな形で本園を支えてくださった皆様のおかげであり、深く感謝しております。

本園はこれから新しい時代を迎えることとなります。これまで諸先輩方が築き上げてこられた確かな伝統を継承しながらも、そこに安閑とすることなく、社会環境の変化に対応し、時には自らを変革し、新たなステージに挑んでまいり所存です。

園長 森 政也

春の訪れが待ち遠しい毎日ですが、皆様には、お元気で新しい年をお過ごしのことと存じます。

聖ヨゼフの園は、静岡県内で4番目、中部地区では初めての特別養護老人ホームとして、昭和44年6月に設立され、今年で創立50周年を迎えます。これまでの長い歩みの中で、多くの皆様に支えられ、導かれて本園が歩んできたことを感謝の気持ちとともに常に思い起こし、これからの歩みにおいてもその使命を果たしていくことができるよう新たな決意をもって一層精進してまいります。

今年もどうぞよろしくお願いいたします。

副園長・特別養護老人ホーム施設長 松下 公子

活き活き写真館

特集 年末年始

～平成から新しい時代へ～



ケーキバイキング (12/25)



クリスマスツリー飾りつけ & もちつき (12/7)

高松中学校PTAボランティアの皆さんと一緒に楽しみました



消防分団の出初式 (1/2)

八幡第九分団の皆様が訪問してくれました



年賀 (1/4)

獅子舞が皆さんのお部屋を回り、年始のご挨拶をしました



クリスマスミサ (12/11)



聖ヨゼフの園の理念について

理事長 和野 信彦

社会福祉法人聖母福祉会の老人福祉事業の理念として「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。(マタイ11章28節)」とあります。紙面をお借りして、この聖書の箇所の意味するものは何か、何を指し示しているのかについてお伝えしたいと思います。

マタイによる福音書11章25節～30節

そのとき、イエスはこう言われた。「天地の主である父よ、あなたをほめたたえます。これらのことを知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになりました。そうです、父よ、これは御心に適うことでした。すべてのことは、父からわたしに任せられています。父のほかに子を知る者はなく、子と、子が示そうと思う者のほかに、父を知る者はいません。疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう。わたしは柔和で謙遜な者だから、わたしの軛(くびき)を負い、わたしに学びなさい。そうすれば、あなたがたは安らぎを得られる。わたしの軛は負いやすく、わたしの荷は軽いからである。」

このイエスのことば「軛」というものがあります。「軛」とは農耕のために家畜(牛やロバ)2匹を左右に並ばせ首に枷(かせ)をつけて一組にし、同時に引かせるために用いる道具のことです。時には奴隷のように働かせる苦役という意味も持つものです。

しかし、イエスは「私の軛は負いやすく」と言います。本来なら苦役の象徴のようなものが負いやすいものとなるのはなぜでしょう。わたしたちの人生の困難や老いという軛(くびき)は無くならないが、首を入れる二つの穴の片方をイエスが担ってくださるから負いやすいものとなるのだと言うのです。そして、重い荷をイエスが共に負ってくださるから軽くなるのだと語っているのです。

イエスは、支えを必要としている者、助けを必要としている者と共にその重荷を負い共に歩むことが神さまのお望みであることを、自らの十字架での死をもってまでもお示しになりました。何故なら、この世界においては有益である有用であると賞賛されることがその存在価値を決めてしまう傾向がありますが、この世界にあっていない命など何一つないことを「知恵ある者や賢い者には隠して、幼子のような者にお示しになる」ことが父である神さまの御心であるからです。

この聖ヨゼフの園はそうした助けを、介護・看護を必要としている高齢者のため設立されました。それは単に福祉のためのサービスを提供することだけに留まることではありません。この社会において神が与えてくださったいのちが、最後の時まで大切にされる(=愛される)ことが神さまのお望みであることを聖母福祉会は設立の土台に据えているのです。

聖ヨゼフの園で職員の皆様がそれぞれの部署において、心を込めて職務にあたってくださいていることに心から感謝いたします。利用者様に良い生活環境を提供するだけでなく、自分が大切にされているという思いを抱くまでに献身的に励んでくださっているからです。人が大切にされている(=愛されている)ということは、神から与えられたいのちのよろこびに直結するものです。そして忘れてならないことは、同時に職員の皆さんのいのちのよろこびにもつながっていくものでもあるのです。

聖ヨゼフの園においての皆さんの働きは父である神さまの御心に適うものであり、この御心は「疲れた者、重荷を負う者は、だれでも私のもとに来なさい。休ませてあげよう」というイエスのことばに示されているのです。そして神さまは、利用者の皆様もそして職員の皆様をも「ご大切に(=愛して)」してくださっていることを、日々の働きの中で感じていくことができますように。

発行日 平成31年1月30日 発行所 社会福祉法人聖母福祉会 聖ヨゼフの園

〒422-8076 静岡県静岡市駿河区八幡4丁目6番9号 TEL 054-282-1871(代) FAX 054-282-1836

E-mail joseph@mail.wbs.ne.jp ホームページ <http://www.joseph-seibofukushikai.jp/>